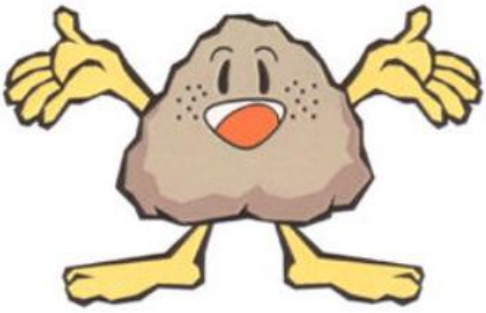
七宗町

日本最古の石発見地のまち「ひちそうちょう」

七宗町公共施設個別施設計画書案



令和３年３月

七　宗　町

目　次

第１章　個別施設計画の概要
１．個別施設計画策定の背景と目的・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１
２．個別施設計画策定の対象施設と計画期間・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２

第２章　公共施設等の現状と課題
１．将来の人口予測～七宗町人口ビジョンより～・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・３
２．本町の財政状況・・４
３．今後の投資限度額及び資金不足額の算出・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・５
４．個別施設の状態・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・７
５．各施設の現状・・９

第３章　本町施設更新の基本方針
１．本町が目指すべきまちづくりの基本・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１０
～七宗町第五次総合計画より～
２．「七宗町公共施設等総合管理計画」に掲げる基本方針・・・・・・・・・・・・・・１０
３．個別施設更新における対策の優先順位の考え方・・・・・・・・・・・・・・・・・・１２
４．各施設の今後の方向性・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１３
５．個別施設計画の数値目標・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１３

第４章　施設別計画
１．対象施設の一覧・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１４
２．施設別計画における各項目の説明・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１６
３．対象施設毎の方針、対策の概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１７

第５章　まとめ
１．個別施設計画の達成による財政効果・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２１
２．本計画の継続的運用の方針・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２１

参考
１．公共施設位置図・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２２
２．施設別計画（詳細版）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２３

第１章　個別施設計画の概要

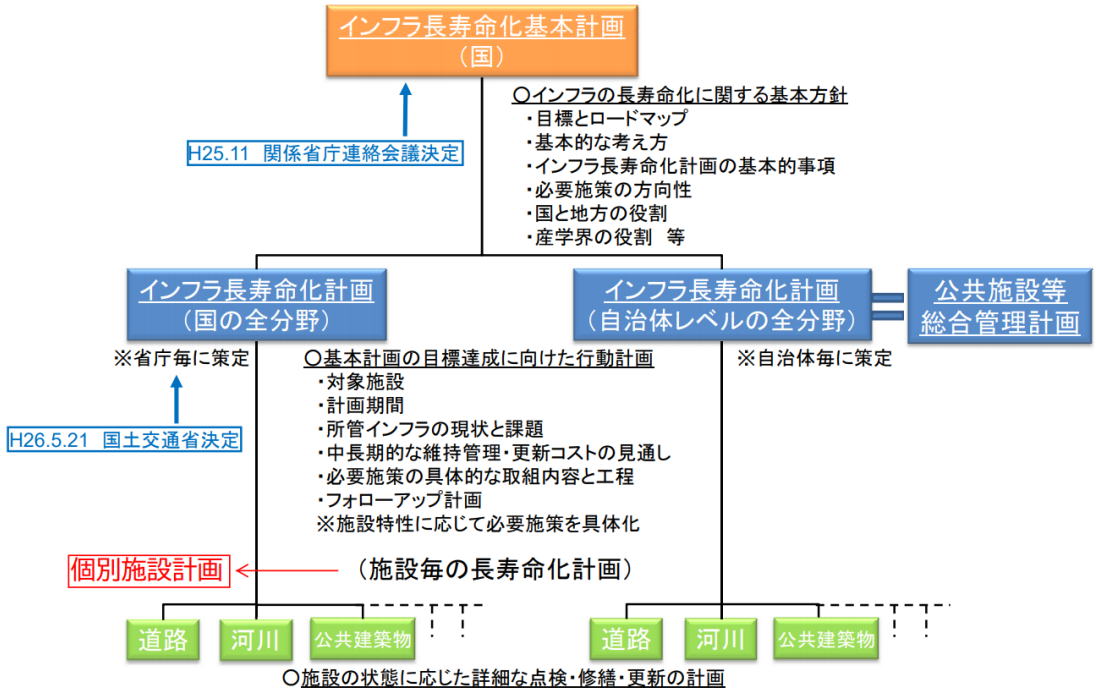
１．個別施設計画策定の背景と目的

これまで七宗町（以下、「本町」という）では、住民生活や様々な社会経済活動に対応するため必要な公共施設をその都度建設してきました。

全国的に高度経済成長期に建設した公共施設の多くで老朽化が進行し、近い将来において更新時期を一斉に迎えることが見込まれています。

国では平成２５年１１月に「インフラ長寿命化基本計画」を策定しました。これを受け、本町では公共施設等の総合的かつ計画的な管理に関して、長期的な視点に立った基本方針を定めるため、平成２９年３月に「七宗町公共施設等総合管理計画」（以下、「総合管理計画」という）を策定しました。

図表１：インフラ長寿命化計画に関する体系図



出典：国土交通省インフラ長寿命化計画

このような背景から、本町における公共施設等の適正配置や効率的な運営の方向性を示すため、また将来の人口を見据えたより具体的な方針を示すため、総合管理計画を踏まえ、各施設ごとの取組方針等を示す計画（以下、「個別施設計画」という）を策定するものです。

２．個別施設計画策定の対象施設と計画期間

（１）本計画における個別施設計画策定の範囲

本町ではこれまでに、本計画とは別に以下の個別施設計画（長寿命化計画）を策定しています。本計画はこれらと別に作成するものです。これまでに作成した個別施設計画は以下の通りとなります。

すでに本町で作成された個別施設計画

●橋りょう長寿命化計画
●公営住宅長寿命化計画
●簡易水道（下水道）経営戦略　など

また、上記以外のインフラ系施設については、別途国からの作成要請があるため、除外します。上記を踏まえ、本計画は以下の分類に対して、計画の作成範囲とします。なお、学校教育系施設のうち小中学校４校については、別途個別施設計画を作成のため当該計画の対象施設範囲から外しています。

図表２：当該計画の対象施設範囲

	施設分類名	主な施設
1	行政系施設	七宗町役場、神渕支所
2	町民文化系施設	神渕ｺﾐｭﾆﾃｨｰｾﾝﾀｰ、 木の国七宗ｺﾐｭﾆﾃｨｰｾﾝﾀｰ、 七宗町開発ｾﾝﾀｰ
3	子育て支援施設	第１保育園、第２保育園、ちびっ子ﾊｳｽ
4	保健・福祉施設	ｻﾝﾎｰﾑ七宗、生きがい健康ｾﾝﾀｰ
5	社会教育系施設	日本最古の石博物館
6	ｽﾎﾟｰﾂ･ﾚｸﾘｴｰｼｮﾝ系施設	七宗町体育館
7	学校教育系施設	給食センター
8	その他施設	本郷バス車庫

（２）計画期間

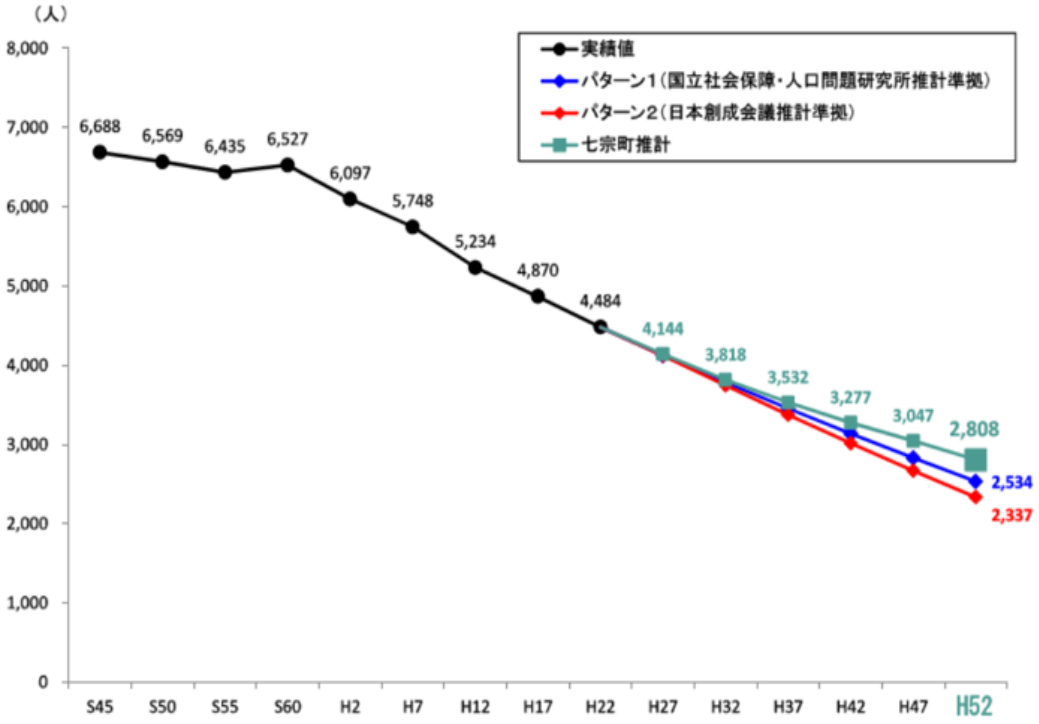
計画期間は、２０２１（令和３）年度から２０４５（令和２７）年度までの２５年間とし、５年ごとに見直します。

第２章　公共施設等の現状と課題

１．将来の人口予測～七宗町人口ビジョンより～

全国的に人口減少、少子・高齢化が進む中、本町おいても例外でなく、約２０年後の２０４０年には人口が２，０００人台になると予想されています。

図表３：人口の将来展望



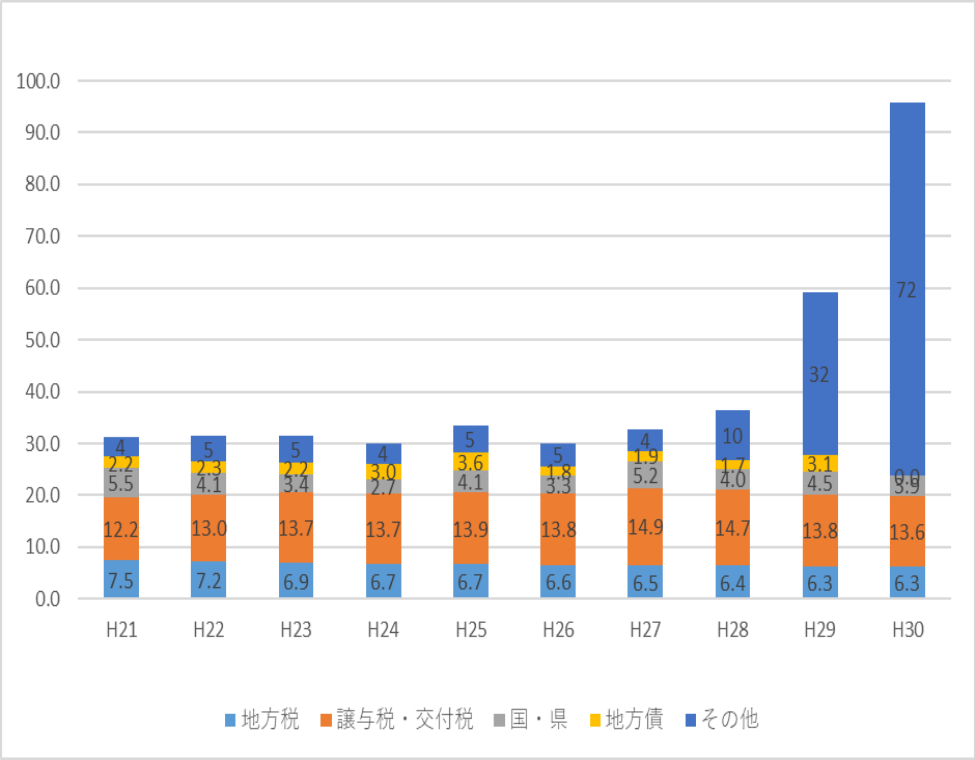
出典：七宗町人口ビジョン（平成２７年１０月）

２．本町の財政状況

（１）歳入の推移

図表４：過去における歳入の推移グラフ

（金額：億円）



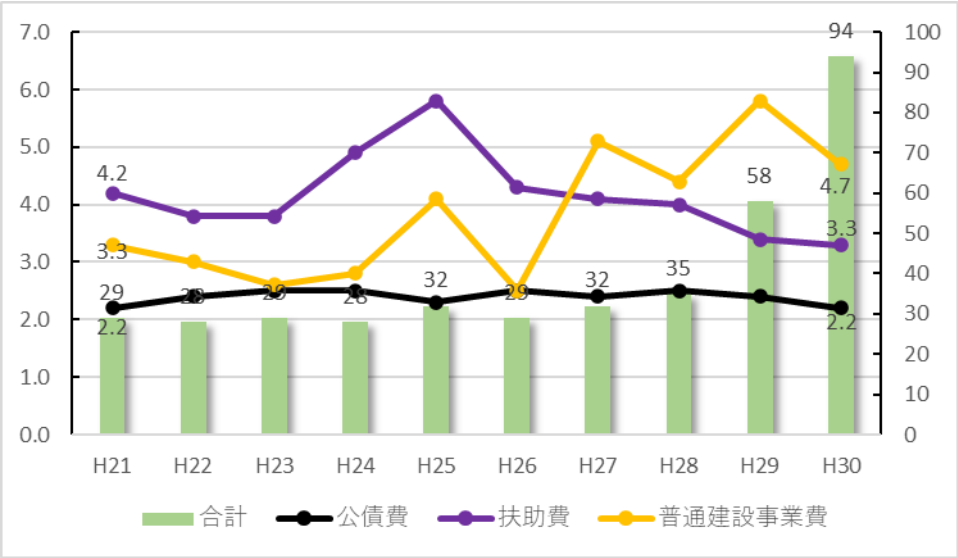
出典：総務省　地方財政状況調査

平成２９年度から「その他」が急増しているのは、ふるさと納税による収入（寄附金）が増加したためです。

（２）歳出の推移

図表５：過去における歳出の推移グラフ

（金額：億円）



出典：総務省　地方財政状況調査

普通建設事業費は年によって増減はあるものの、全体として増加傾向にあります。

３．今後の投資限度額及び資金不足額の算出

本町における公共建築物の将来４０年間における更新費用は、公共施設等総合管理計画において約１４７．３億円（１４，７３０百万円）となり、１年あたり約３．７億円（３７０百万円）の費用が必要であると見込まれています。本計画期間（２５年間）における更新費用は、約９２．５億円（９，２５０百万円）と見込まれます。

次に、必要な投資金額約９２．５億円（９，２５０百万円）に対し、投資可能な金額を計算していきます。

投資に充てることができる金融資産として、地方公会計の財務諸表である貸借対照表（以下、「Ｂ／Ｓ」）に計上されている「流動資産」と「投資その他の資産」があります。本町の２０１８（平成３０）年度におけるＢ／Ｓからは、「流動資産」＋「投資その他の資産」＝３５億円（３，５００百万円）となっています。これは投資必要額約９２．５億円（９，２５０百万円）の３７．８％で、内部留保の資金だけでは対応不可能となっています。

内部留保での対応が不可能であることから、毎年の税収や補助金などの収入を充てなければなりません。本町の経常収支（発生主義）は次の通りです。

図表６：本町の経常収支（発生主義）

収入		支出	
項目	金額（百万円）	項目	金額（百万円）
税収等	5,860	人件費	558
国県等補助金	389	物件費等	2,001
経常収益	79	減価償却費	570
臨時利益	0	移転費用	2,246
		その他	90
合計	6,328	合計	5,465

※減価償却費を除く

収入合計	6,328
支出合計	5,465
本年度差額	863

出典：２０１８（平成３０）年度における公会計財務諸表

本町の収入と支出は収支差額が８．６３億円（８６３百万円）あるものの、この中で内部に留保され、投資に回すことができる金額は減価償却費５．７億円（５７０百万円）のうち公共建築物（建物）に係る１．０９億円（１０９百万円）となります。この減価償却費相当額を投資限度額と設定します。

資金不足額は、次の算式によって求められます。

投資限度額　＝　減価償却費１０９百万円×２５年＝２，７２５百万円

投資必要額		投資限度額		資金不足額
９，２５０百万円	－	２，７２５百万円	＝	６，５２５百万円

当計画は、約６５．２５億円（６，５２５百万円）、１年あたり約２．６１億円（２６１百万円）の資金不足額を補うため、施設の単純更新だけではなく、利用状況等を考慮した施設の長寿命化や統廃合などの方法を検討します。

４．個別施設の状態

（１）構造躯体の健全性の評価

これまでに、本町では人口増加や行政需要に対応して、学校、庁舎などの公共施設を建設し、町民の生活基盤、地域コミュニティの拠点として大きな役割を果たしてきました。建築年が最も古いもので１９５０年代と老朽化が進行しています。各個別施設毎の老朽化度合（建築年より算定した老朽化率）は次の通りです。

図表７：各個別施設（主要施設）毎の老朽化度合

	施設名	建築年	面積	老朽化率
1	七宗町役場	1959年	1748.35㎡	94%
2	神渕支所	1993年	282.17㎡	54%
3	神渕コミュニティーセンター	1993年	2291.13㎡	54%
4	木の国七宗コミュニティーセンター	2004年	1508.96㎡	67%
5	七宗町開発センター	1980年	886㎡	80%
6	第１保育園	1999年	919.24㎡	62%
7	第２保育園	1992年	733.69㎡	70%
8	ちびっ子ハウス	1977年	122.49㎡	86%
9	サンホーム七宗	1998年	1368.78㎡	44%
10	生きがい健康センター	1999年	318.42㎡	55%
11	日本最古の石博物館	1995年	1246.27㎡	61%
12	七宗町体育館	1979年	3990㎡	87%
13	上麻生小学校	1967年	3471㎡	82%
14	上麻生中学校	2000年	3996㎡	43%
15	神渕小学校	1959年	2670㎡	94%
16	神渕中学校	2003年	4355㎡	36%
17	給食センター	2013年	643.47㎡	14%
18	本郷バス車庫	1997年	307.05㎡	46%
			平均値	63%

出典：七宗町施設カルテ

（２）構造躯体以外の劣化状況等の調査

点検内容については、下記の項目を目視、触診、聴診等の方法により点検し、建物の劣化具合の把握を行った。ただし、屋上などの高所で転落等のおそれがある場合は、必ずしも現場に立ち入って点検せず、周りの安全な場所から目視にて確認するなど安全を最優先している。施設点検シートにおける状態（○または×）の定義は次の通りである。

○：劣化がなく、正常な状態。
　　劣化は見られるが、建物に影響がない程度である。

×：劣化が激しく建物に影響がある。
　　一部損傷がある。安全が確保されていない等

図表８：施設の劣化状況点検内容（建物）

点検箇所	点検内容
屋　根 （防　水）	屋根の仕上げ（防水層、屋根葺き材等）にひび割れ、浮き、ひどい劣化はないか。
	ルーフドレン廻りや雨どいの中に枯葉や土が堆積していたり雑草が生えていないか。
	パラペットにひび割れやモルタルの浮きや剥がれはないか。
	屋上の設置物（ＴＶアンテナ、フェンス等）の金物に腐食、劣化はないか。
外壁・建具 （サッシ）	塗膜が剥がれたり、亀裂（クラック）はないか。
	モルタルやタイルの浮きはないか。
	鉄筋が露出したり、錆汁の発生はないか。
	目地（打ち継ぎ目地等）や建具廻りのシール材に亀裂はないか。また、硬化しひどく劣化していないか。
	面格子、タラップの取り付けに（ぐらつき、錆び）はないか。
	建具の開閉や建付けに異常はないか。
内　装	漏水やシミ、カビの発生はないか。
	手摺、ノンスリップにぐらつきや外れはないか。
	防火戸前に荷物や家具はないか。
外　構	コンクリート擁壁や万年塀・コンクリート塀に亀裂や損傷はないか
	メッシュフェンスに破れはないか。
	錆びの発生や錆汁の噴出はないか。
	塀に傾きはないか。
	地盤に不陸、陥没、隆起はないか。
	マンホールや側溝の蓋にひび割れや破損はないか。

出典：施設点検シート

また、最近における修繕の実績は次の通りです。

図表９：主要な修繕履歴（平成２４年度以降分、学校分を除く）

施設名	改修工事名等	改修年度	改修費（百万円）
七宗町役場	庁舎エアコン更新工事	2012年度	26
七宗町役場	庁舎耐震補強工事	2017年度	36
第１保育園	屋根塗装工事	2017年度	10
日本最古の石博物館	屋根等修繕工事	2017年度	36
七宗町体育館	外壁改修工事（外壁劣化）	2016年度	75
七宗町体育館	給水管改修工事	2018年度	9
七宗町体育館	非常用発電機更新工事	2018年度	10

※施設カルテ及び公会計固定資産台帳より主要なものを抽出

５．各施設の現状

	施設名	現状
1	七宗町役場	古い施設である
2	神渕支所	神渕ＣＣと併設している
3	神渕ＣＣ	神渕支所と併設している
4	木の国七宗ＣＣ	近年中に修繕時期が到来
5	七宗町開発ｾﾝﾀｰ	イベント等の利用に限定されている
6	第１保育園	築後２０年経過、修繕時期が到来
7	第２保育園	近年中に修繕時期が到来
8	ちびっ子ハウス	修繕の必要な箇所が目立つ
9	サンホーム七宗	築後２０年経過、修繕時期が到来
10	生きがい健康センター	築後２０年経過、修繕時期が到来
11	日本最古の石博物館	博物館としての利用、運営費負担大
12	七宗町体育館	耐震性・地盤等の問題がある
13	給食センター	築後１０年未満、当面は修繕不要
14	本郷バス車庫	築後２０年経過、修繕時期が到来

※ＣＣ：コミュニティーセンターの略

七宗町開発センターは、令和３年３月３１日をもって廃止する。今後は、七宗町体育館の一部として機能する予定である。

第３章　本町施設更新の基本方針

１．本町が目指すべきまちづくりの基本～七宗町第五次総合計画より～

本町では、若い世代の町外転出等を背景に、人口減少、少子高齢化が進行しています。将来にわたって本町が存続し続けるためには、避けることのできない人口減少を受け入れつつも、その抑制に取り組むことが重要です。

（１）まちづくりの基本コンセプト

住みたい　帰りたい　訪れたい　美しいまち　ひちそう

（２）まちづくりの基本目標

①「交流を生み出す安全で便利な生活基盤づくり」
②「自然と調和した快適でうるおいのある環境づくり」
③「健康でいきいきと暮らせる思いやりの地域福祉づくり」
④「個性と創造性を育むこころ豊かなひとづくり」
⑤「地域資源を生かした魅力と活力あふれる産業づくり」
⑥「参画と協働による自主・自立のまちづくり」

２．「七宗町公共施設等総合管理計画」に掲げる基本方針

（１）点検・診断等の実施方針

①公共施設等を適切に利用し、性能を十分に発揮させるには日常的・定期的に点検・診断することが重要となります。
②公共施設等については、その利用状況、自然環境及び経年変化等に応じて、劣化や損傷の進行が異なることから、各施設の特性等を考慮した上で、対症療法的な事後保全ではなく計画的な予防保全の視点から点検・診断を実施します。
③点検・診断の実施結果は、今後の維持管理等に活用するため、適切に収集・蓄積・管理を行います。

（２）維持管理・修繕・更新等の実施方針

①施設の重要度や劣化状況、利用者の変化などに対応する公共施設等のあり方や、機能の見直しに応じて長期的な視点で優先度をつけ、計画的に改修・更新を行います。
②改修・更新の実施にあたっては、既存施設との集約化や小規模化及び設備の省エネ化などを十分検討し、初期費用及び維持管理運営費用を検証したうえで総合的に判断します。
③不具合が生じてから必要となる修繕などを行う対症療法的な維持管理から、計画的な点検、診断及び修繕などを行う予防保全的な維持管理への転換を推進します。

（３）安全確保の実施方針

①日常的・定期的な点検・診断結果に基づいて、公共施設等の劣化状況を把握するとともに、災害などに備え、ソフト・ハードの両面から安全性の確保を図っていきます。

②安全の確保にあたっては、防災拠点であるか、多くの住民の利用がある施設であるかなどの視点から、優先度を検討します。

（４）耐震化の実施方針

①公共施設等については、平常時における利用者の安全を確保するとともに、災害時には防災拠点や避難所としての機能が求められ、耐震性を確保する必要があります。

②災害時における拠点施設としての機能確保の観点から、必要となる公共施設等の耐震改修整備を重要度・優先度に応じ計画的・効果的に推進します。

（５）長寿命化の実施方針

①公共施設等については、耐用年数までの使用を可能とするため、定期点検や修繕による予防保全に努めるとともに、計画的な機能改善による施設の長寿命化を推進します。

②今後とも継続的に利用が見込まれると判断される施設については、維持管理経費や利用状況を考慮しつつ長寿命化を推進することで、更新費用の削減に努めます。

（６）統合や廃止の推進方針

①将来の更新費用などの圧縮を図る観点から、施設需要の変化に応じて質と量を最適化することが必要となります。

②人口の推移や財政状況、近隣施設、施設の整備状況・運営状況・利用率に照らして、本計画を推進していきます。

（７）総合的かつ計画的な管理を実現するための体制の構築方針

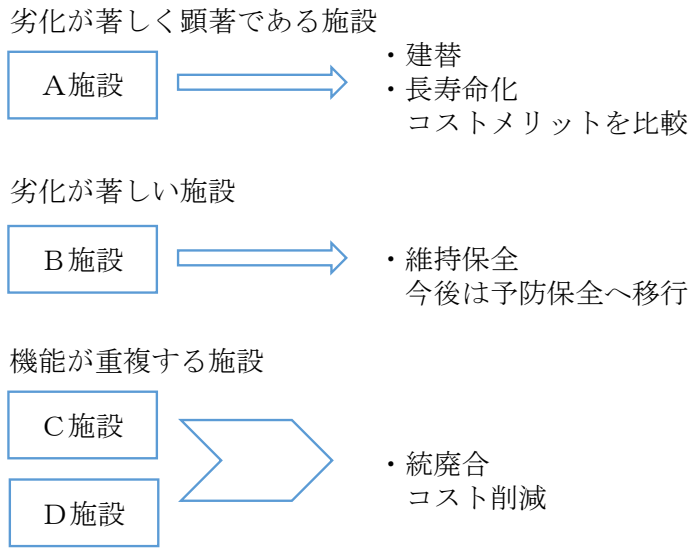
①今後、公共施設等を良好な状態で保持し、将来に引き継いでいくために、公共施設等に関する情報の一元的な管理や、各所管課にとらわれず、総合的かつ計画的な維持管理を実現するため体制の整備を行っていきます。

②各施設の長寿命化に向け、品質の維持・向上及び継続的な業務改善活動を推進するマネジメント手法である「PDCA サイクル」の確立を推進します。

３．個別施設更新における対策の優先順位の考え方

（１）今後の施設更新方針

図表１０：対策の優先順位の考え方（イメージ図）



①　劣化が著しく顕著である施設

七宗町体育館については、長寿命化工事によるコストメリットを検討し、建替か長寿命化のいずれが有効かを比較検討します。（七宗町開発センターは七宗町体育館と同時に同じ更新政策を行います）

②　劣化が著しい施設

施設の点検により劣化が著しい施設については、劣化の進行を止めるための応急措置としての維持保全を優先して行います。また、全施設について予防保全の観点から毎年施設担当課による定期点検を行い、日常の維持管理を徹底することで中長期的なコスト削減に努めます。

③　機能が重複する施設

本町の人口推移を勘案すると、人口に比べて施設が多いことは明白です。同じような機能を持つ施設は統廃合を行い、統廃合する施設にかかるコストを軽減させることができます。

④　通常のサイクルによる建替え

耐用年数の全部を経過したら建替えるという考え方です。この場合、更新の対象となる施設が多いため、耐用年数通り更新を行う施設を最小限に絞り込みます。

４．各施設の今後の方向性

	施設名	方針等		
		機能	建物	今後の方向性
1	七宗町役場	維持	建替	建替えを検討（場所も移転を検討）
2	神渕支所	維持	維持	管理の一元化により維持コストを削減する
3	神渕ＣＣ	維持	維持	管理の一元化により維持コストを削減する
4	木の国七宗ＣＣ	追加	維持	現状維持のための予防保全を実施
5	七宗町開発ｾﾝﾀｰ	統合	更新	建替か長寿命化工事かコストメリットを検討
6	第１保育園	維持	統合	当面は現状維持。将来統合を検討
7	第２保育園	維持	統合	当面は現状維持。将来統合を検討
8	ちびっ子ハウス	移転	除却	新しい子育て支援施設へ機能を移転
9	サンホーム七宗	維持	維持	現状維持
10	生きがい健康センター	移転	除却	新しい子育て支援施設へ機能を移転
11	日本最古の石博物館	維持	譲渡	学術研究施設として国等への無償譲渡を検討
12	七宗町体育館	統合	更新	建替か長寿命化工事かコストメリットを検討
13	給食センター	維持	維持	現状維持のための予防保全を実施
14	本郷バス車庫	維持	維持	現状維持のための予防保全を実施

※ＣＣ：コミュニティーセンターの略

基本的な方針を踏まえた施設整備の水準は、次の通りです。

（１）改修等の整備水準

改修等の整備水準は､イニシャルコストではなくライフサイクルコストを重視した改修等を行います｡コストに配慮しながら環境性能や利用者快適性を高めるよう努めます。

（２）維持管理の項目・手法等

建築基準法第 12 条 2 項に準じた定期点検を 3 年ごとに実施するとともに､予防保全の観点から各担当課での日常点検を毎年 1 回以上実施します｡これにより予算措置が必要なものについては､予防保存の考え方から予防的な修繕等を実施することで機能･性能の保全を図ることを検討します｡予算措置が必要ないものについても､職員の日頃の清掃活動等の中で実施できるものに関しては予防保全を実施していきます。

５．個別施設計画の数値目標

更新費用削減目標　２５年間の更新費用

総合管理計画　９２．５０億円（９，２５０百万円）

個別施設計画　８３．２５億円（８，３２５百万円）

更新費用削減　▲９．２５億円（　▲９２５百万円）

（削減率１０％）

１年あたり　▲０．３７億円　　（▲３７百万円）

第４章　施設別計画

１．対象施設の一覧

本計画の対象とする公共施設は以下のとおり１４施設となります。

図表１１：対象施設一覧

	施設分類名	主な施設	施設数（棟）	総面積（㎡）
1	行政系施設	七宗町役場 神渕支所	2	2524.32
2	町民文化系施設	神渕ｺﾐｭﾆﾃｨｰｾﾝﾀｰ 木の国七宗ｺﾐｭﾆﾃｨｰｾﾝﾀｰ 七宗町開発ｾﾝﾀｰ	3	4968.26
3	子育て支援施設	第１保育園 第２保育園 ちびっ子ﾊｳｽ	3	1775.60
4	保健・福祉施設	ｻﾝﾎｰﾑ七宗 生きがい健康ｾﾝﾀｰ	2	1687.20
5	社会教育系施設	日本最古の石博物館	1	1246.27
6	ｽﾎﾟｰﾂ･ﾚｸﾘｴｰｼｮﾝ系施設	七宗町体育館	1	3992.00
7	学校教育系施設	給食センター	1	643.47
8	その他施設	本郷バス車庫	1	307.05

（１）改修等の優先順位付けと実施計画

七宗町体育館は劣化が著しく進行しているため、更新年度において建替もしくは長寿命化のいずれが有利かどうかのコストメリットを示した上で更新政策を検討します。

上記以外の施設は現在の更新政策に従い、更新予定年度において各種更新政策（建替、統合、除却）を実施すると計画します。

なお、計画期間内に更新予定年度が到来しない施設は、計画期間中における更新政策は維持（譲渡も同じ）として、予防保全としてのコスト（建設後１０年単位で発生する修繕等コスト）を要すると計画します。

（２）長寿命化のコストの見通し、長寿命化の効果（七宗町体育館）

【前提事項】

・個別施設計画の計画期間は 25 年（2021 年度～2045 年度）とします。
・ＬＣＣ（ライフサイクルコスト）及び各種コスト（建設、運用、保全及び解体処分）の計算は、「平成３１年度建築物のライフサイクルコスト」一般財団法人建築保全センター編集・発行　に基づきます。
・建替もしくは長寿命化工事の実行年度を 2026 年度とします。

【表の見方】

・Ａ　単純比較（長寿命化予想の保全コストはＬＣＣ計算額）

・Ｂ　長寿命化予想の保全コストをＬＣＣ計算額＋実額をもとに試算

・長寿命化予想ＬＣＣ①

（長寿命化工事の建設コストを新築工事費の７０％相当額で試算）

・当初更新（建替）予想ＬＣＣ②

・金額の単位は千円

	基本情報		長寿命化予想ＬＣＣ①		
	更新年度	施設名称	長寿命化工事	保全ｺｽﾄ	合計額
A	2026	七宗町体育館	641,078	591,577	1,232,655
B	2026	七宗町体育館	641,078	873,577	1,514,655

	基本情報		当初更新予想ＬＣＣ②			
	更新年度	施設名称	既存施設分	建替施設分	床面積（㎡）	合計額
A	2026	七宗町体育館	249,366	1,144,189	3,990	1,393,555
B	2026	七宗町体育館	249,366	1,144,189	3,990	1,393,555

	基本情報		差額	今後	参考	
	更新年度	施設名称	②－①	更新政策	新築工事費	７０％相当額
A	2026	七宗町体育館	160,900	長寿命化	915,826	641,078
B	2026	七宗町体育館	-121,100	建替	915,826	641,078

単純比較（Ａ）の場合は長寿命化が有利ですが、図表９：主要な修繕履歴でみられるように保全コストを実額をもとに試算した場合（Ｂ）では、建替の方が長寿命化工事よりもコストメリットがあると試算されました。

２．施設別計画における各項目の説明

<table>
<tr><td rowspan="3">①通番</td><td rowspan="3">②施設名など</td><td colspan="4">対象施設等の方針（概要）</td></tr>
<tr><td rowspan="3">③計画期間</td><td>第1期、第2期</td><td>第3期、第4期</td><td>第5期</td></tr>
<tr><td>R3～R12</td><td>R13～R22</td><td>R23～R28</td></tr>
<tr><td>2021～2030</td><td>2031～2040</td><td>2041～2045</td></tr>
<tr><td colspan="7"></td></tr>
<tr><td>1-1</td><td colspan="3">七宗町役場</td><td>④更新予定</td><td>●</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>⑤地区</td><td>⑥耐震性</td><td>⑦避難所指定</td><td>⑧延床面積</td><td>⑫事業費
（百万円）</td><td>843</td><td>28</td><td>68</td></tr>
<tr><td>上麻生</td><td>有</td><td>なし</td><td>1748㎡</td><td>⑬取得価額
（百万円）</td><td>380</td><td>⑯当初更新予想
費用（百万円）</td><td>843</td></tr>
<tr><td colspan="2">⑨竣工年度</td><td>⑩老朽化率</td><td>⑪更新予定年度</td><td>⑭更新方針</td><td>建替</td><td>⑰更新費用
（百万円）</td><td>843</td></tr>
<tr><td colspan="2">1959年度</td><td>94%</td><td>2024年度</td><td>⑮更新年度</td><td>2024年度</td><td>⑱費用削減
見込額（百万円）</td><td>0</td></tr>
</table>

①通番：例　1-1 は、1（施設分類名）－1（施設の名称）を表す
②施設名など：施設の名称
③計画期間：２０２１年～２０４５年の２５年間としている
④更新予定：●の計画期間中に更新方針に基づく更新を行う
⑤地区：施設が所在する地区を表示している
⑥耐震性：有、無による分類
⑦避難所指定：あり、なしによる分類
⑧延床面積：対象施設に係る延床面積（施設カルテより）
⑨竣工年度：対象施設の竣工年度
⑩老朽化率：対象施設の老朽化度合（経過年数／耐用年数）
⑪更新予定年度：対象施設の耐用年数が全部経過する年度
⑫事業費：対象施設に要する更新費用等
（建設コスト及び建設後１０年単位で発生する修繕等コスト）
⑬取得価額：公会計における固定資産の取得価額としている。
⑭更新方針：更新予定年度到来時における更新方針
⑮更新年度：更新方針の実施年度
⑯当初更新予想費用：計画期間中に対象施設の更新が到来する場合における改築費用（新築工事費等）
⑰更新費用：更新方針に基づいた場合の更新費用
⑱費用削減見込額：当初更新予想費用よりも更新費用が削減できる見込である場合の削減見込額

３．対象施設毎の方針、対策の概要

通番	施設名など			対象施設等の方針（概要）			
				計画期間	第1期、第2期	第3期、第4期	第5期
					R3～R12	R13～R22	R23～R28
					2021～2030	2031～2040	2041～2045
1.行政施設系							
1-1	七宗町役場			更新予定	●		
地区	耐震性	避難所指定	延床面積	事業費（百万円）	843	28	68
上麻生	有	なし	1748㎡	取得価額（百万円）	380	当初更新予想費用(百万円)	843
竣工年度		老朽化率	更新予定年度	更新方針	建替	更新費用（百万円）	843
1959年度		94%	2024年度	更新年度	2024年度	費用削減見込額（百万円）	0
1-2	神渕支所			更新予定			●
地区	耐震性	避難所指定	延床面積	事業費（百万円）	32	28	87
神渕	有	なし	282㎡	取得価額（百万円）	86	当初更新予想費用(百万円)	124
竣工年度		老朽化率	更新予定年度	更新方針	長寿命化	更新費用（百万円）	87
1993年度		54%	2043年度	更新年度	2043年度	費用削減見込額（百万円）	37

2. 町民文化系施設							
2-1	神渕コミュニティーセンター			更新予定			●
地区	耐震性	避難所指定	延床面積	事業費（百万円）	257	230	708
神渕	無	あり	2291㎡	取得価額（百万円）	476	当初更新予想費用（百万円）	1,011
竣工年度		老朽化率	更新予定年度	更新方針	長寿命化	更新費用（百万円）	708
1993年度		54%	2043年度	更新年度	2043年度	費用削減見込額（百万円）	303
2-2	木の国七宗コミュニティーセンター			更新予定	●		
地区	耐震性	避難所指定	延床面積	事業費（百万円）	254	20	0
上麻生	無	あり	1509㎡	取得価額（百万円）	382	当初更新予想費用（百万円）	254
竣工年度		老朽化率	更新予定年度	更新方針	建替	更新費用（百万円）	254
2004年度		67%	2028年度	更新年度	2028年度	費用削減見込額（百万円）	0
2-3	七宗町開発センター			更新予定	●		
地区	耐震性	避難所指定	延床面積	事業費（百万円）	307	10	0
上麻生	無	なし	886㎡	取得価額（百万円）	138	当初更新予想費用（百万円）	307
竣工年度		老朽化率	更新予定年度	更新方針	建替	更新費用（百万円）	307
1980年度		80%	2026年度	更新年度	2026年度	費用削減見込額（百万円）	0
3. 子育て支援系施設							
3-1	第1保育園			更新予定		●	
地区	耐震性	避難所指定	延床面積	事業費（百万円）	17	201	7
上麻生	有	あり	919㎡	取得価額（百万円）	300	当初更新予想費用（百万円）	287
竣工年度		老朽化率	更新予定年度	更新方針	統合	更新費用（百万円）	201
1999年度		62%	2032年度	更新年度	2032年度	費用削減見込額（百万円）	86
3-2	第2保育園			更新予定		●	
地区	耐震性	避難所指定	延床面積	事業費（百万円）	41	201	7
神渕	有	あり	734㎡	取得価額（百万円）	174	当初更新予想費用（百万円）	174
竣工年度		老朽化率	更新予定年度	更新方針	統合	更新費用（百万円）	201
1992年度		70%	2032年度	更新年度	2032年度	費用削減見込額（百万円）	-27

通番	施設名など			対象施設等の方針（概要）			
				計画期間	第1期、第2期	第3期、第4期	第5期
					R3～R12	R13～R22	R23～R28
					2021～2030	2031～2040	2041～2045
3-3	ちびっ子ハウス			更新予定	●		
地区	耐震性	避難所指定	延床面積	事業費（百万円）	4	0	0
上麻生	不明	なし	122㎡	取得価額（百万円）	16	当初更新予想費用(百万円)	18
竣工年度		老朽化率	更新予定年度	更新方針	除却	更新費用（百万円）	4
1977年度		86%	2027年度	更新年度	2027年度	費用削減見込額（百万円）	14
4.保健・福祉施設施設							
4-1	サンホーム七宗			更新予定			
地区	耐震性	避難所指定	延床面積	事業費（百万円）	77	116	0
神渕	有	あり	1369㎡	取得価額（百万円）	406	当初更新予想費用(百万円)	193
竣工年度		老朽化率	更新予定年度	更新方針	維持	更新費用（百万円）	193
1998年度		44%	2048年度	更新年度	2048年度	費用削減見込額（百万円）	0
4-2	生きがい健康センター			更新予定		●	
地区	耐震性	避難所指定	延床面積	事業費（百万円）	0	14	0
上麻生	有	あり	318㎡	取得価額（百万円）	67	当初更新予想費用(百万円)	140
竣工年度		老朽化率	更新予定年度	更新方針	除却	更新費用（百万円）	14
1999年度		55%	2037年度	更新年度	2037年度	費用削減見込額（百万円）	126
5.社会教育系施設							
5-1	日本最古の石博物館			更新予定			
地区	耐震性	避難所指定	延床面積	事業費（百万円）	140	125	38
中麻生	有	なし	1246㎡	取得価額（百万円）	782	当初更新予想費用(百万円)	550
竣工年度		老朽化率	更新予定年度	更新方針	譲渡	更新費用（百万円）	303
1995年度		61%	2036年度	更新年度	2036年度	費用削減見込額（百万円）	247
6.ｽﾎﾟｰﾂ･ﾚｸﾘｴｰｼｮﾝ系施設							
6-1	七宗町体育館			更新予定	●		
地区	耐震性	避難所指定	延床面積	事業費（百万円）	916	44	0
上麻生	無	なし	3990㎡	取得価額（百万円）	534	当初更新予想費用(百万円)	916
竣工年度		老朽化率	更新予定年度	更新方針	建替	更新費用（百万円）	916
1979年度		87%	2026年度	更新年度	2026年度	費用削減見込額（百万円）	0

通番	施設名など			対象施設等の方針（概要）			
				計画期間	第1期、第2期	第3期、第4期	第5期
					R3～R12	R13～R22	R23～R28
					2021～2030	2031～2040	2041～2045
7.学校教育系施設							
7-1	給食センター			更新予定			
地区	耐震性	避難所指定	延床面積	事業費（百万円）	0	0	36
神渕	有	なし	643㎡	取得価額（百万円）	90	当初更新予想費用(百万円)	36
竣工年度		老朽化率	更新予定年度	更新方針	維持	更新費用（百万円）	36
2013年度		14%	2063年度	更新年度	2063年度	費用削減見込額（百万円）	0
8.その他施設							
8-1	本郷バス車庫			更新予定			
地区	耐震性	避難所指定	延床面積	事業費（百万円）	18	27	0
上麻生	不明	なし	307㎡	取得価額（百万円）	37	当初更新予想費用(百万円)	45
竣工年度		老朽化率	更新予定年度	更新方針	維持	更新費用（百万円）	45
1997年度		46%	2047年度	更新年度	2047年度	費用削減見込額（百万円）	0

第５章　まとめ

１．個別施設計画の達成による財政効果

対象施設に係る単純更新費用と更新方針適用後の更新費用とを比較した場合、単純更新費用４８．９８億円（４，８９８百万円）が４１．１２億円（４，１１２百万円）と▲７．８６億円（▲７８６百万円）の更新費用削減がなされる見通しです。

２．本計画の継続的運用の方針

（１）情報基盤の整備と活用

公共施設の施設基本情報や光熱水費、修繕履歴情報、点検情報などを統一フォーマットで管理する保全情報データベースを整理し、これまでの事後保全から予防保全に向けての施設関連情報を一元管理していくものとします。

（２）推進体制の整備

総合管理計画の所管課である総務課による全庁的な基準・方針等を踏まえながら、各施設担当課が中心となって、本計画をもとにした施設マネジメントを行っていくものとします。

また日常管理・点検の充実に向けては、施設管理・点検マニュアルなどの整備を検討するとともに、マニュアルの実施に向けた研修会などにより、不具合箇所の早期発見・早期改修によりランニングコストの低減を図っていきます。

（３）フォローアップ

本計画は、施設の改修等の優先順位を設定するものであり、実施に当たっては改築等の庁内合意を得るなかで、実施計画等での予算措置を行い事業実施を行っていくものであります。こうしたことから、事業の進捗状況や点検結果などを反映して計画をフォローアップし、必要に応じ計画の見直しを図るものとします。

参考　１．公共施設位置図

出典：七宗町公共施設等総合管理計画

参考　２．施設別計画（詳細版）

各項目の説明

<table>
<tr><td rowspan="3">通番</td><td rowspan="3" colspan="2">施設名など</td><td rowspan="3">計画期間</td><td colspan="27">対象施設毎の方針、対策等</td></tr>
<tr><td colspan="12">第1期</td><td colspan="10">第2期</td><td colspan="5">第3期</td></tr>
<tr><td>R3</td><td>R4</td><td>R5</td><td>R6</td><td>R7</td><td>R8</td><td>R9</td><td>R10</td><td>R11</td><td>R12</td><td>R13</td><td>R14</td><td>R15</td><td>R16</td><td>R17</td><td>R18</td><td>R19</td><td>R20</td><td>R21</td><td>R22</td><td>R23</td><td>R24</td><td>R25</td><td>R26</td><td>R27</td></tr>
<tr><td>2021</td><td>2022</td><td>2023</td><td>2024</td><td>2025</td><td>2026</td><td>2027</td><td>2028</td><td>2029</td><td>2030</td><td>2031</td><td>2032</td><td>2033</td><td>2034</td><td>2035</td><td>2036</td><td>2037</td><td>2038</td><td>2039</td><td>2040</td><td>2041</td><td>2042</td><td>2043</td><td>2044</td><td>2045</td></tr>
<tr><td colspan="32">1. 行政施設系</td></tr>
<tr><td>1-1</td><td colspan="2">七宗町役場</td><td>更新予定</td><td></td><td></td><td></td><td>●</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>地区</td><td>耐震性</td><td>避難所指定</td><td>延床面積</td><td>事業費（百万円）</td><td></td><td></td><td></td><td>843</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>28</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>68</td><td></td></tr>
<tr><td>上麻生</td><td>有</td><td>なし</td><td>1748㎡</td><td>取得価額</td><td colspan="5">380 百万円</td><td>更新方針</td><td colspan="3">建替</td><td>更新年度</td><td>2024年度</td><td colspan="3">当初更新予想費用</td><td colspan="4">843 百万円</td><td>更新費用</td><td colspan="4">843 百万円</td></tr>
<tr><td colspan="2">竣工年度</td><td>老朽化率</td><td>更新予定年度</td><td>費用削減見込額</td><td colspan="4">0 百万円</td><td rowspan="2">対策等</td><td colspan="22" rowspan="2">更新予定年度（2024年度）でもって建替を行う。</td></tr>
<tr><td colspan="2">1959年度</td><td>94%</td><td>2024年度</td><td>担当部署</td><td colspan="4">総務課</td></tr>
</table>

計画期間：２０２１年～２０４５年の２５年間、１年毎の表示としている。

更新予定：●の年度内に更新方針に基づく更新を行う。

事業費：対象施設に要する更新費用（建設コスト）

取得価額：公会計における固定資産の取得価額

更新方針：更新予定年度到来時における更新方針

更新年度：更新方針の実施年度

当初更新予想費用：計画期間中に対象施設の更新が到来する場合における改築費用（新築工事費等）

更新費用：更新方針に基づいた場合の更新費用
（長寿命化工事との比較を前提としている）

費用削減見込額：当初更新予想費用よりも更新費用が削減できる見込である場合の削減見込額

担当部署：令和２年度における対象施設の管理部署（施設カルテより）

対策等：対象施設の更新方針について概要を記載